

月刊 ゆがの通信

2023年5月号

発行：ゆがの薬局

かすみ目、初期の白内障に「杞菊地黄丸」 ブルーライトから網膜を守る「爽快サポート」

「目」の諸症状に注意を

近年、目に関するご相談が目に見えて増えてきています。

- ・目の疲れが取れない
- ・かすみ、しょぼしょぼする
- ・新聞などの小さな文字が読みにくい
- ・車の運転が怖い、億劫だ

などがご相談の内容ですが、以前は高齢の方がほとんどでした。それがここ数年は一〇から三〇代の若年層からのご相談が増えていくのが特徴です。また、それぞれにその原因に違いがあります。

「高齢の方の場合は「加齢による『肝（かん）』の衰え」が大きな原因と考えられます。それは漢方の考え方に「肝は血を蔵す」、「肝は目に穴を開く」といわれ、肝と目は密接なつながりがあるとされているからです。



目がかすみ、ぼやける、まぶしいなど初期の白内障にみられる症状は肝が「血（けつ）」と呼ばれる栄養を充分に目に届けられなくなったために起こってきます。肝の衰えはまず目の不調

に現れるのです。

若年層の場合は「目の使い過ぎによる疲労」から不調を感じることが多いようです。この年代は仕事や勉強でパソコンを使い、それ以外の時間でもスマートフォンなどを使用します。つまり起きている間はずっと目を酷使しています。またパソコンやスマートフォンに使われているLED液晶から発生するブルーライトは非常に強いパワーを持っており直接目の網膜に届いてしまったために網膜が傷ついてしまい、視力低下だけでなく黄斑変性症などの眼病や失明へと発展してしまうこともあるようです。

目の不調の放置は危険です

ちょっとした不調だからと放置してしまうと高齢の方の場合は白内障へ、若年層は視力低下や網膜の障害へと移行してしまうこともあるのでどちらも対処は早いうちに行うことが重要です。

白内障の初期のかすみ目には「杞菊地黄丸（こぎくじおうがん）」がおすすめです。肝と腎を潤し肝の血を目に届ける枸杞子（クコシ）と肝の高ぶりを抑え目をスッキリさせる菊花（キクカ）を中心とした生薬の配合で肝の働きを高めてやれば「飲む目薬」と言われるほど目の不調に効果があります。

眼精疲労には「爽快α-II」をおすすめします。ブルーライトなどの有害な光から網膜を守ってくれるルテイン・毛様体筋をほぐしピント調整機能に働くアントシアニンは世界の高級品を使用しており、見る健康素材をぎっしりと凝縮しています。

目が不自由になつてしまうと行動力も低下してしまいます。健康的な毎日を送るためにも目の不調はあきらめたり放置せずに対処しましょう。まずはご相談ください。

漢方療法推進会

「杞菊地黄丸」第二類医薬品

七二〇粒入り（一か月分）

七、〇〇〇円＋税



天野商事株式会社

「サポートイズム 爽快α-II」

（機能性表示食品）

九〇粒入り（一か月分）

四、八〇〇円＋税



「杞菊地黄丸」「爽快α-II」についてのご相談・質問は店頭だけでなくお電話でも受け付けています。お気軽にご相談ください。

「実は多くの方が悩んでる尿漏れ」

漢方のチカラで根本から改善！

星火安固丹（セイカアソコタン）でお悩みを解消！ 健康な毎日を送りましょう



(C) イスクラ産業株式会社

1ヶ月分 7000円（税別）

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>